

^{かみしょう}上小のこども ^{がくしゅうへん}<学習編> ^{かみしょう}上小のみんなが ^{がくしゅう}学習でそろえること

筆ばこ	1年生	2年生	3～6年生
	えん筆 5～6本		
	消しゴム		
	赤えんぴつ～赤ペン（色ペン）		
	油性ペン（ネームペン）		
		とうめいな定規	

- すべての物に名前を書きます。
- かざりがある物など注意力をうばう物は使いません。
- えんぴつはHBよりやわらかいもので、毎日家でけずります。
- おりたたみ式の定規やシャープペンは使いません。
- その他の色ペンなどは、先生の指どうで必要におうじて使います。
- タッチペンを使う人は、ふでばこの中に入れます。

ノ ー ト		国語	算数	
	1	前期:10マス(十字リーダー入り) 後期:12マス(十字リーダー入り)	前期:6マス(十字リーダー入り) 後期:7マス(十字リーダー入り)	
	2	15マス(十字リーダー入り)	前期:14マス 後期:17マス	
		国語	算数・理科・社会	
	3	18マス	5mm方眼罫	
	4			
	5	12行タテ罫(リーダー入り)		
	6			

学習ルール	全学年
	- 登校したら、身じたくや学習用具のじゅんびをして、朝学習が始められるようにします。 1校時と2校時の間、3校時と4校時の間は、次の学習のじゅんび時間です。 - 中休みや昼休みの前も、次の学習のじゅんびをします。 - 机の上には、教科書、ノート、えん筆1本（赤えん筆）、消しゴムを置きます。 ※筆ばこを机の中にしまいます。 - 授業の「終わりのあいさつ」は『礼、1・2・3』です。その後に、落ちついて次の行動をします。 - 体育のときは、ジャージ(動きやすい服そう)と体育ぼうしです。 - 教室移動のときは、（整列して）静かに歩きます。

※低学年では、じゅうちょうとれんらくちょうを用意します。



	低学年（1・2年生）	中学年（3・4年生）	高学年（5・6年生）
話し方	手をあげ返事をしよう 相手に向かって話そう ていねいな言葉で話そう 場にあった声の大きさと話そう		
	みんなを見て 聞きやすいはやさで みんなに聞こえる大きさで	相手に伝えるように 順序に気を付けて 結論から	要点をまとめて 比較しながら 相手を意識して
聞き方	作業をやめて、話している人の方に体を向けよう		
	手を置いて 相手を見て 反応しながら	相手を見て 反応しながら 考えを比べながら	要点をつかみながら 大事なことはメモをとりながら 比較し自分の考えをまとめながら

お ^{べん}置き勉もチェックしよう

上小のこども <生活編>

上小のみんなが学校生活で意識すること



あさ
朝

- 朝8:00～8:10の間に学校に着くように家を出る。(8:10から朝読書・朝学習が始まる。)
- やむを得ない事情で早く来なくてはならない場合は、保護者を通して担任に理由と登校時刻を伝える。(担任はその後、係を通して全体に周知する。)
- 登下校は、必ず決められた通学路を通る。放課後にグラウンドや友達の家・公園などで遊ぶときは、必ず一度家に帰り、かばんを置いてから出かける。
- 教室に入ったらすぐに名札をつけ、帰るときは、はすして決められた場所に置く。
・体育や校外学習のときは、名札をはすす。
- 忘れ物をしても家に取りに帰らず、担任の先生に言う。
- 遅れて登校したときや放課後学校に入るときは、職員玄関のインターホンでクラスと名前を言う。(児童用の玄関は、かぎが閉まっている。)
- 職員室の電話は、緊急を要する場合のみ使用できる。忘れ物を親にもってきてもらうための電話の使用は、担任と相談する。

も
持ち物

- 持ち物には必ず名前を書く。
- ハンカチ・ティッシュは、いつも携帯する。(ポケットポーチを使用する場合は、クリップタイプのものにする。肩掛けのひもタイプのものは、使用しない。)
- 学習に必要なのないものは持ってこない。
・携帯電話を所持する場合は、必ず担任に報告し、係に届け出る。
「学校ではカバンから出さない。」「音が鳴らないよう設定しておく。」などの事前指導を受けた上で、所持することができる。(年度ごとに届け出が必要。)



こうない
校内で

- 先生や友達に、すすんで気持ちのよいあいさつをする。
- 名前を呼ばれたら元気よく返事をする。
- 時、場所、場面に合わせた言葉遣いや態度をとる。
- 廊下は右側を歩き、走らない。
- 体を動かす遊びや運動は、天気が良い日は、グラウンドで行う。雨天時や冬期間など、グラウンドでの遊びや運動が難しい場合は、体育館や1年教室前スペース及び展望ホールにおいて、教員が付いた上で、危険のない遊びや運動を可とする。
(1年教室前スペースや展望ホールでは走らない。)
- 特別教室や体育館のステージ・器具室では遊ばない。
(ステージの上で活動するときは、教員が必ず付く。)
- けがをしたときや体調がよくないときは、担任の先生に知らせてから保健室に行く。
- 特別教室(図書室など、児童に開放されている教室以外)には、児童だけでは入らない。他の学級に出入りする場合は、その学級・学年の先生に断ってから入る。(用事が無いのにふらふら歩いたり、先生がいない教室に入ったりしない。)

